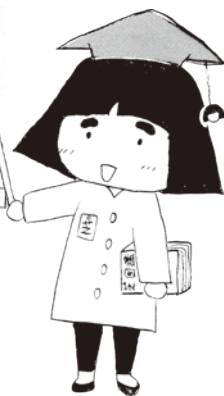


しば子先生の

ミニミニ 芝生教室

第87回 焼け



先生：土壌pHの低下とカルシウムの問題について説明してきたけどよくわかったかしら？

生徒：はい、カルシウム不足からくるpHの低下と肥料の効果の低下はさまざまな問題を起こします・・・

先生：そうね・・・それを正しい土壌に戻すためにもいろいろな問題があるという事ね・・・ところで肥料を播いて『肥料焼け』するのはよく知られていることだけど、どうして肥料で芝生が焼けるのかわかってる？

生徒：えっ！・・・ん～つまり播く量を間違っただけで濃度障害を起こすという事ではないでしょうか？

先生：半分当たりね・・・

濃度障害は合ってるけど播く量を間違わなくても肥料焼けは起こるわね・・・

生徒：え～正しい量の肥料を播いても肥料焼けは起こるんですか？

先生：そうよ・・・カルシウム不足による土壌pHの低下とそれの修正・・・そしてこの肥料焼けのシステムも、土壌の『化学性』の問題に起因しているわ・・・この肥料焼けのシステムをきちんと理解して

いないと常に肥料焼けの可能性が高くなるし、また正しい肥料の種類を適時選ぶこともできないわね・・・肥料焼けが怖くて効果の出ないいわゆる『焼けない』肥料をいくら播いても芝生の養分としては大して役に立たないわよ・・・正しい肥料を選び、正しい量で正しい方法で播く・・・それと同時に播くときの芝生の健全性もきちんと考えないといけないわ・・・

生徒：なんだか肥料のすべてにかかわってくるんですね・・・

先生：そのとおり・・・だからこの肥料焼けのシステムをちゃんと理解するという事は、肥料のすべてをしっかりと理解していないと無理だということなのよ・・・

生徒：はあ・・・頑張ります・・・

先生：例えば窒素、リン、加里が含まれている肥料を播いて肥料焼けを起こしました・・・さて窒素、リン、加里のどの成分が肥料焼け

を起こす原因となったのでしょうか？

生徒：えっ・・・加里かな・・・

先生：時々こういう質問を受けるんだけど窒素とかリンとか加里などは元素でしょ？肥料の中には元素単体だけで含まれてはいないわね・・・

生徒：そうです！尿素とか硫酸加里とかの化合物として含まれています・・・

先生：だからこの質問は最初の段階で間違っているのよ・・・

生徒：そうか播いている肥料がどんな分子構造の物質からできているかを考えないといけないですね・・・

生徒：という事は肥料焼けをさせたのは尿素なのかリン安なのか硫酸加里なのか・・・という問題なんですね・・・

先生：そういうことね・・・

生徒：ではその三つの中だったらどれが肥料焼けを起こす原因になるんですか？

先生：そうあせらないの・・・それはおいおいわかることよ・・・ではまず肥料焼けには二つのタイプがあるのを

知ってる？

生徒：え！二つ・・・うーんと・・・

先生：一つは『葉焼け』もう一つは『土壌中の濃度障害による焼け』・・・

生徒：という事は葉が焼けるタイプと根が焼けるタイプの違いという事でしょうか？

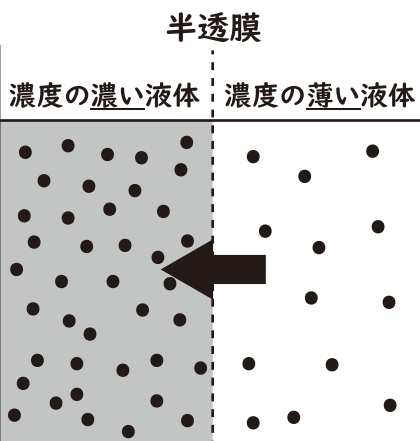
先生：そのとおり・・・鋭いわね・・・葉が焼ける、根が焼ける、どちらも肥料の濃度に関連するわ・・・

生徒：根の方はなんとなくわかりますが葉の方は濃度障害になるのでしょうか？

先生：さてじゃあ質問、『浸透圧』という言葉は知ってる？

生徒：えっ・・・昔学校で習ったような・・・

先生：そう・・・浸透圧とは、半透膜を隔てて濃い濃度の液体と薄い濃度の液体を並べると、薄い濃度の液体が半透膜を通して濃い濃度の液体に引っ張られて移動するというものよ・・・肥料焼けの原因はこれなのよ！



しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・・
shibako@hugh-enterprise.co.jp